

第27回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成29年1月16日（月） 県庁4階大会議室		
委員 (委員数：5) (出席数：4)	委員長 中村和之（富山大学経済学部長） 委員 伊藤 始（富山県立大学工学部教授） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 前田陽子（税理士）		
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 平成28年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 平成28年度上半期の一位不動入札、落札率100%入札、一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 平成28年度上半期の低入札価格調査制度対象工事の状況、最低制限価格制度対象工事の状況及び指名停止の運用状況について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	平成28年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：1077件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	（事案1） 神通川左岸流域下水道神通川左岸浄化センター中央監視制御設備（水処理設備）改築
	1億円以上	1件	（事案2） 主要地方道魚津生地入善線道路総合交付金新二つ屋橋（仮称）上部工
	2千万円以上	3件	（事案3） 一般国道472号道路総合交付金 十三石橋下部工A1橋台
			（事案4） 城端ダム河川総合交付金昇降機設備更新 （事案5） 農地防災 庄川左岸一期地区 新又口分水工
指名競争入札		4件	（事案6） 伏木富山港（富山地区）港湾総合交付金住友運河遊歩道整備その3 （事案7） 長坂地区砂防総合交付金（地すべり）集水井工 （事案8） 主要地方道宇奈月大沢野線道路総合交付金道路改良第2工区 （事案9） 農地防災 庄川左岸二期地区 苗加用水路水門製作据付その3
随意契約		1件	（事案10） 和田川浄水場 次亜製造装置電極等修繕
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	平成28年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案1の工事について、1者入札であったが、何者の入札参加が可能だったのか。</p> <p>○事案2の橋りょう工事について、プレキャストセグメント工法を採用しているのは何故か。</p> <p>○事案3の工事について、変更契約で減額されているが、その理由は。</p> <p>○事案6の工事について、全ての業者の入札額が予定価格に近いのは何故か。</p> <p>○事案7の工事について、落札業者のみ入札額が低い理由は。</p> <p>○事案10（随意契約）の工事について、浄水場の装置の修繕工事となっているが、将来、装置自体を取り換えることとなった場合、どのようにして業者を選定することになるのか。</p>	<p>本工事は共同企業体方式（JV）を活用したが、代表構成員は20者、その他構成員は49者の入札参加が可能であった。</p> <p>現場環境等の諸条件を踏まえ、経済性や品質の確保、工期等の観点から比較検討し採用したもの。</p> <p>近接する工事を請け負う業者と同一の業者が請け負うことになったことから、規定に基づき、諸経費等を控除した額に変更したもの。</p> <p>県の積算歩掛・労務資材単価が公表されていることに加え、工夫の余地が少ない工事であることから、県の積算（予定価格）に近い入札額になったのではないかと推測される。</p> <p>落札業者は当該工事が施工される地域の他の工事を受注したことのある地元業者であり、受注意欲が高かったのではないかと推測される。</p> <p>今回の工事は、特定の部品の交換が必要であることから随意契約となったが、将来、装置自体を取り換えることとなれば、一般競争入札を行い、業者を選定することになる。</p>